

# 簡易な所得見込額の申立書

## 【家計急変】

「簡易な収入見込額の申立書」表面の年間収入見込額を記入

(例)  
 申請者(本人(44歳))  
 年間収入額 4,020,000円  
 内訳  
 養育費 720,000円  
 給与収入 3,300,000円

○「簡易な収入見込額の申立書(申請者本人用)」の【要件2】又はの【要件】を満たさなくても、以下の【所得要件】を満たせば支給の

★所得で申し立てたい方の氏名を記載の上、その方の申請者から

氏名	<b>親子 花子</b>	属性	<input checked="" type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 父母 <input type="checkbox"/> 祖
----	--------------	----	---

以下、上記の氏名の方についての必要な情報をご記入してください。

A 「簡易な収入見込額の申立書」または「簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用)」の③欄の金額をご記入ください。

年間収入見込額	<b>4,020,000</b>	円
---------	------------------	---

### 控除等

B Aの年間収入見込額のうち、給与収入に係る給与所得控除の見込額(12か月分)

養育費を記入した方	<b>144,000</b>	円	※養育費の20%の金額をご記入ください。 ※1円未満の端数が生じる場合は四捨五入してください。
-----------	----------------	---	--

C Aの年間収入見込額のうち、給与収入に係る給与所得控除の見込額(12か月分)

給与収入を記入した方	<b>1,170,000</b>	円	※以下により控除額を計算の上、ご記入ください。
給与所得控除	①Aの額のうち給与収入分が65万円未満 → 給与収入分の全額 ②Aの額のうち給与収入分が65万円超162.5万円以下 → 65万円 ③Aの額のうち給与収入分が162.5万円超180万円以下 → 給与収入分×40% ④Aの額のうち給与収入分が180万円超360万円以下 → 給与収入分×30%+18万円 ⑤Aの額のうち給与収入分が360万円超660万円以下 → 給与収入分×20%+54万円		

D Aの年間収入見込額のうち、事業収入、不動産収入に係る必要経費の見込額(12か月分)

事業収入又は不動産収入を記入した方	<b>0</b>	円	※Aを算出するための任意の1か月の事業又は不動産収入のために要した経費の12か月相当額をご記入ください。 ※帳簿等の上記の経費がわかる書類をご提出ください。
-------------------	----------	---	---

E Aの年間収入見込額のうち、公的年金等収入に係る公的年金等控除の見込額(12か月分)

年金収入を記入した方	<b>0</b>	円	※以下により控除額を計算の上、ご記入ください。
公的年金等控除	65歳未満 ①Aの額のうち年金収入分が130万円以下の方 → 70万円 ② " 130万円超410万円以下の方 → 公的年金等収入分×25%+37.5万円 ③ " 410万円超770万円以下の方 → 公的年金等収入分×15%+78.5万円 65歳以上 ①Aの額のうち年金収入分が330万円以下の方 → 120万円 ② " 330万円超410万円以下の方 → Aの額のうち公的年金等収入分×25%+37.5万円 ③ " 410万円超770万円以下の方 → Aの額のうち公的年金等収入分×15%+78.5万円		

F その他の控除

控除名 (a 小規模企業共済等掛金控除)	a	<b>240,000</b>	円	e							円
控除名 ( b 障害者控除 )	b	<b>270,000</b>	円	f							円
控除名 ( )	c		円	g							円
控除名 ( )	d		円	h							円
その他控除額合計 (a + b + c + d + e + f + g + h)		<b>510,000</b>	円								

※別添の「控除対象一覧表」のうち、当てはまるものの項番または控除名を記入してください。  
※控除が4つ以上ある場合は、一つの控除名の欄に、2つの項番または控除名を記入

G 社会保険料相当額

社会保険料控除(一律)			8	0	0	0	0
-------------	--	--	---	---	---	---	---

「控除対象一覧表」を参照して、該当するものを記入  
 ※控除を5つ以上記入する場合は控除名欄に2つの控除名を記入してください。

H 各控除等の控除後の年間所得見込額 A - ( B + C +

年間所得見込額	<b>2,116,000</b>
---------	------------------

→扶養親族が1人の場合には、Hが230万円未満であれば【所得要件】を満たすため、Iの記載は不要です。

裏面下部の【確認事項】・署名欄にお進みください。

(裏面に続きます。)

I 要件に該当するか確認してください。

(1) 以下のどちらか当てはまる方を選択してください。

「簡易な収入見込額の申立書（申請者本人用）」  
収入基準Aの方

その他の方

(2) 「簡易な収入見込額の申立書」（申請者本人用または扶養義務者等用）【☆】と同じ人数にチェックしてください。

収入基準Aの方		
チェックしてください。		基準額
✓	人数	
<input type="checkbox"/>	0人	1,920,000円
<input checked="" type="checkbox"/>	1人	2,300,000円
<input type="checkbox"/>	2人	2,680,000円
<input type="checkbox"/>	3人	3,060,000円
<input type="checkbox"/>	4人	3,440,000円
<input type="checkbox"/>	5人	3,820,000円
<input type="checkbox"/>	人	円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額をご記入ください。

収入基準Bの方		
チェックしてください。		基準額
✓	人数	
<input type="checkbox"/>	0人	2,360,000円
<input type="checkbox"/>	1人	2,740,000円
<input type="checkbox"/>	2人	3,120,000円
<input type="checkbox"/>	3人	3,500,000円
<input type="checkbox"/>	4人	3,880,000円
<input type="checkbox"/>	5人	4,260,000円
<input type="checkbox"/>	人	円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額をご記入ください。

(3) 「簡易な収入見込額の申立書」（申請者本人用または扶養義務者等用）【☆】を用いて計算を行ってください。

収入基準Aの方	
i (2) で選択した基準額	<b>2,300,000</b> 円
ii ☆の◎の数×150,000円	<b>150,000</b> 円
iii ☆の○の数×100,000円	<b>0</b> 円
所得基準額 (i + ii + iii)	<b>2,450,000</b> 円
年間所得見込額 (表面のH)	<b>2,196,000</b> 円

収入基準Bの方	
i (2) で選択した基準額	円
ii ☆の○の数×60,000円 (○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	円
所得基準額 (i + ii)	円
年間所得見込額 (表面のH)	円

→ 【所得要件】Hの年間所得見込額が所得基準額より低いこと

【確認事項】 (各項目をご確認ください。)

- ・ 【所得要件】に該当します。
- ・ 控除額が分かる書類 (帳簿等) を提出しています。  
(前ページのD欄に記入した場合のみ)
- ・ 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の所得見込額が所得基準額を上回ることが明らかであるものではありません。
- ・ 給付金の支給要件の該当性等を案本等するため、区が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や

「簡易な所得見込額申立書」で申請いただく場合、収入の状況・生計を同じくしている親族の確認のため、記入した「簡易な収入見込額の申立書」も添付してください。

【確認事項】を確認・同意の上、申し立てます。

令和 4 年 7 月 3 日

申請者氏名 親子 花子

扶養義務者氏名 \_\_\_\_\_